

かながわの海と生物たち

海にはさまざまな環境があり、
たくさんの生物がくらしています。



イワシの群れ

水面へ向かう泡



空気タンクを使って水中
世界を楽しむスキューバ
ダイビング



干潮時の磯。石や岩には緑色の海藻が生える。石の下や
すき間は、生物のすみかとなり、海藻は食べ物にもなる。



砂浜では、アサリなどの二枚貝やスナガニなどの
砂にもぐって生活する生物が多く暮らしている。



海中の岩場には、海藻が生え、貝やウニなどの生物
がくっついて暮らしている。小魚も集まってくる。



海中を彩るソフトコーラルや
ウミシダ。漂う有機物を食べる。



海藻の森。小さな生物たちのすみかになったり、
さまざまな生物が卵を産み付ける大切な場所。



発光する動物プランクトン「ヤコウチュウ」。
大増殖し、赤潮になるが、夜は青く光る。



植物プランクトンが増えると、海の色が
緑色になる。



ソフトコーラルに小魚が踊るように群れる
海中景色は、まるで竜宮城のよう。

Discover Blue® 特定非営利活動法人ディスカバーブルー

助成：日本財団

一部写真提供：横浜国立大学 下出信次教授



ウメボシイソギンチャク

アマクサアメフラシ

マナマコ

ケヤリムシ

ヒライソガニ

イタボヤ

アオウミウチ

アラレタマキビ

サラサエビ

アミコケムシ

サンゴイソギンチャク

ソラスズメダイ

ハコフグの幼魚

イソヨコバサミ

ダンゴウオ

ヤリイカのたまご

イシマフクロウニ

トウコロウイワシ

アカヒトデ

ザラカイメン

日本の海に生息する海洋生物は、15万種と考えられています。
 大きなクジラも小さなプランクトンも海藻も、みんな大切な海の仲間です。



スカシカシパン

ウツボ

ギンカクラゲ

イソバナ

ツメタガイ

ワレカラのなかま

キンチャクダイ

イセエビ

キンギョハナダイ

ワカメ

トゲハネウミシダ

ミスガイ

ニホンアワサンゴ

イボヤギ

ヒョウモンダコ

植物プランクトン珪藻の一種
photo by Shinji Shimode

動物プランクトンカイアシの一種
photo by Shinji Shimode

キアンコウ

テツルモツルの一種

トラフナマコ

イバラカンザシ

スナイソギンチャク